

平成 30 年度「知財功労賞」経済産業大臣表彰を受賞

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本 克弘）は、経済産業省 特許庁が実施している平成 30 年度「知財功労賞」*1 において、経済産業大臣表彰を受賞いたしました。

この受賞は、当社がこれまで継続的に取り組んできた全社的な知財経営戦略活動における、IP ランドスケープ*2 を活用した技術マーケティングの実行や、事業のコア価値獲得・強化策とその知財戦略の実践を評価いただいたものです。

【受賞のポイント】

- 全社の知財経営戦略を司り、CEO を含めた全経営陣で全社の知財戦略を審議する会議を行い、会社全体のコア価値とそれを獲得・強化するための知財戦略や、事業ポートフォリオの評価・改善等を審議する体制を構築している。
- 将来ビジョンの実現に向けた経営課題を分析・把握して解決策を提案するため、知的財産権を活用した IP ランドスケープを活用し、開発テーマの妥当性検証や新事業テーマの分析、特許網を構築すべきテーマ、アライアンス先や M&A 候補企業の探索等を実施して、知的財産部が事業戦略の指導を全社横断的に行っている。
- 航空、鉄道等の輸送分野から、産業用ロボット、自動ドア等の産業分野等において各種コア技術を開発して事業活動を行っている。世界市場の確保のため、世界各国での特許網の構築とノウハウの保護を徹底し、模倣品対策として、権利行使等の毅然とした対応を講じている。同社の製品は市場で高いシェアを獲得しており、産業ロボットの精密減速機で世界シェア約 6 割を獲得している。

当社は、独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供し、人々の暮らしと社会基盤を支える企業として、今後も引き続きグローバルに知財経営戦略を展開し、事業競争力の強化や企業価値の向上を推進してまいります。

*1 「知財功労賞」とは、経済産業省 特許庁が、知的財産権制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献のあった企業等と、同制度の発展および普及・啓発に貢献のあった個人を表彰するものです。それぞれ経済産業大臣表彰と特許庁長官表彰があり、両表彰を合わせて「知財功労賞」と総称されています。毎年 4 月 18 日の「発明の日」に表彰が行われています。

*2 「IP (Intellectual Property) ランドスケープ」：自社の経営や事業を成功に導くために、知財情報や市場情報を統合的に分析し、新事業創造、M&A や事業提携等の企業戦略に活用していく手法。

以上